

千里山ニュース

■ 第一中学校体育館で「たそがれコンサート」が開催されました

今年で第4回になる「たそがれコンサート」ですが、年々その参加者も演奏レベルも高まっています。

8月19日(日)連日の猛暑にもかかわらず、この日の晴れ舞台を目差して練習を積み重ねてきた、子供達や学生そして父兄や住民の方達の熱気溢れる歌や踊り、楽器演奏を楽しもうと、多くの聴衆が会場となった一中の体育館を訪れ見守りました。

一中校区地域教育協議会・地区人権啓発推進委員会の皆さんの運営サポートも、会場や駐車場などのあちらこちらで大きな原動力となっていました。



■ 千里山平和カーニバル「Rua Feliz (幸せの街路)2007」が開催されます

10月28日(日)千里寺境内・第一噴水・美和遊園において、ルーア・フェリスが開催されます。フリーマーケットやパネル展示そしてアトラクションなど多くのブース参加が見込まれ、今年も千里山の街に賑わいを運んで来てくれることでしょう。

第3回目の今年は、これまでのペイフォワード倶楽部に替わり、実行委員会方式の運営に進み、より広く住民参加型のまちイベントになっています。

実行委員会ブログ URL : <http://rua-feriz2006.blog.drecom.jp>



■ 「せんりやまファミリーフェスタ2007」が開催されます

千里山自治会主催の「せんりやまファミリーフェスタ2007」が11月25日(日)に、千里山会館と第一噴水を会場に今年も行われます。

千里山会館では音楽演奏や絵・書道・写真などの作品展示が行われ、毎年その成果を見せて貰おうと、多くのお友達や家族連れで賑わいます。第一噴水では昔遊びや手作り工房など、住民との交流ブースが設けられて子供達の笑顔と歓声が活きいきと響き渡ります。

参考サイト URL : <http://senriyama.net/frameset-5d.html>



■ 漫画家田代しんたろうさんをご紹介します

千二小学校の同窓生であり、東京の千里山会の会員でもある漫画家の田代しんたろうさんは、多感な幼年時代を過ごされた、故郷の千里山の思い出をたくさんの漫画に残して下さっています。

千里山団地の工事が始まった頃の通学の様子や、千里山駅が終着駅だった懐かしい時代の街の情景などが、一人の表現者の目を通して描かれ味わうことができる幸運を、より多くの住民にお伝えしたいと思います。

ホームページ URL : <http://www.tashiro3.com/>



■ 千里山.NETに「街の歴史」ページが掲載されています

千里山の地域情報ポータルサイト「千里山.NET」に「街の歴史」ページが作成され、街の誕生以前から簡単に辿って頂けるようになっていきます。先人の多くの参考資料や研究書文などに示唆を頂きながら再構成する中で、50項目ほどのエポックを年代順にご覧頂けます。

<http://senriyama.net>



お知らせ : 投稿歓迎! ご意見や千里山ニュースなどへの情報をお寄せ下さい。
千里山まちづくりニュースの企画・編集・写真提供など、ご協力頂ける方を募集します。
千里山まちづくり協議会では会員を常時募集しています! (年会費:1000円)
以上、お問い合わせやご参加・ご応募の際には下記事務局までご連絡下さい。

発行 : 千里山まちづくり協議会 会長 : 筒井一光 編集 : 安藤為彦・中野直衛・小島功
事務局 : 〒565-0851 吹田市千里山西5丁目11-19 千里山会館内 TEL:06-6384-0603
(年会費などの振込み口座番号 : 00990-7-278514 口座名称 : 千里山まちづくり協議会)

ちさとの風

千里山まちづくりニュース No.8

<http://machikyo.osakazine.net>

SENRIYAMA

千里山まちづくり協議会

2007.10.14 【秋号】

心ふれあうまち、安全で住み良いまち、美しく楽しいまち、千里山をめざして

1 まちづくりニュースの愛称が決定しました!

■ 「ちさとの風」に込められた、まちづくりへの願い。

「千里山まちづくりニュース」の愛称募集をされる、とのお話しを聞き是非参加させていただこうと、40年ちかくなるこの地での思い出や感じた事等を振り返り、その時々を想いを色々な言葉に託してみました。このまちに最も相応しい言葉として「ちさとの風」に至りました。

この「ちさと」の里に爽やかな希望の風がそよぐ如く、このまちにお住まいのみんなが日々元気に挨拶を交わし、謙虚にお互いを思いやる気持ちをもって、お付き合いの出来るまちになればとの願いを込めました。

(神徳守)



会計役員としても活躍

2 千里山まちづくり協議会の活動を講演!

■ 景観づくり研修会

2007/3/30 千里山佐井寺図書館

大阪美しい景観づくり推進協議会(事務局:大阪府住宅まちづくり部建築指導室)主催の景観づくり研修会が開催されました。

参加は吹田市など府下の都市整備部門の職員や市民の景観サポーターなど約40名。当会からは筒井会長・安藤副会長・廣瀬事務局長など10名が参加しました。

『まちづくり作法集』作成など当会の活動が、各市町村のまちづくり活動の参考事例にしたいと選ばれ、千里山佐井寺図書館で開催されました。

まず、「千里山まちづくり協議会のあゆみ」と題して、前事務局長の松岡要三がこれまでの協議会活動全般を紹介し、作法集プロジェクトリーダーの中島祐三が『まちづくり作法集』の作成の意義や裏話の発表をおこないました。

その後3班に分かれて、第一噴水や千里寺、千里山キリスト教会、千里山団地など桜の咲き始めた千里山を案内しました。また事務局に作法集CD版を350円で60部購入いただき、参加者に配布していただきました。

最後に参加会員でビールなどで喉を潤しながら、楽しい反省会となりましたが、良い経験になったと話していました。(松岡要三)



街並みや歴史の案内



復元教室での講演



礼拝堂の中でも感嘆



マンションの模型を前に



反省会で一息入れます

3 まちづくり協議会のイベントや研修会にあなたも参加しませんか？

2007年度、千里山まちづくり協議会の活動実績の一端を報告します。あなたも、まちづくり協議会やイベントサポーターに参加しませんか？まちづくり協議会でして欲しい事などありましたら案をお寄せ下さい。

千里山で暮らす（街づくりの提案）

千里山で遊ぶ（イベントの企画）

千里山を知る（研修の企画）

■ 千里山まちづくり懇談会での活動報告

〈はじめに〉

私たちは、平成15年11月に発足以来、千里山地域の課題解決の向けて少なからず実績をつけてきました。

〈千里山駅周辺まちづくり懇談会のこれまで〉

私たちは、千里山駅周辺まちづくり懇談会においても積極的にかかわり、懇談会運営に有力なメンバーを提供してきました。

私たちは、懇談会を、市長が提唱しておられる「協働から協創へ」の実践活動の場であると自負してきました。

〈懇談会の現状〉

残念ながら私たちの力量不足もあり、懇談会での行政案と市民意見の乖離を解消することができませんでした。

〈懇談会の今後に向けて〉

私たちが、私たちの存続をかけた話し合いをした結果、千里山のまちづくりのために、千里山まちづくり協議会自らが汗をかいて、次のことを行うことを行政に提案し、行政との協働の再構築を試みることにしました。

1. 大阪府との協議
2. 警察、公安委員会との協議
3. 関係地権者との折衝協力

これらのことを、私たちが主体的に行うことは「協働から協創へ」のまちづくりにとって重要であり、取り組み方・成果如何によっては、千里山の歴史、吹田の市史に大きく記録されることになると思います。

（駅前周辺再生プロジェクト 広村知幸）



在りし日の猪川さん

前会長の猪川道生さんを偲んで……

川崎 縣一

私にとって、猪川さんは、千里第二小学校の上級生で、全てに秀でた紳士でした。クラスでは級長を務め、大阪の高津中学、姫路高等学校、京都大学と、全て旧制であったと言っておられたのを思い出します。日本電気（NEC）に入社後、取締役社長をもって退職。日本のコンピュータ業界をリードした人でした。

退職後は、その卓見で幅広い技術を提供され、各方面からの多くの要請に応えられましたが、幼いころから千里山に育った思い入れもあり、吹田市が千里山駅周辺・東部URの再開発の「千里山駅周辺まちづくり懇談会」を立ち上げるに当たり、会長に推挙したところ、快く引き受けて頂き感謝申し上げます。おかげをもちまして、阪急電車をまたぐ迂回路も計画され、踏み切りの混雑解消ができます。

昨年少し気になるので聞きましたら、下顎が不自由に見えたのは、手術をされ幸い元気になったと、神徳さんと二人で見舞ったとき、これで悪い処はなくなったと言っていた猪川さん、旧制にこだわって急逝とはしどいです。

同級生3人で箕面の瀧を見に行こうと約束していたのに。嗚呼残念。

本当にご苦労様でした 安らかにお休みください。

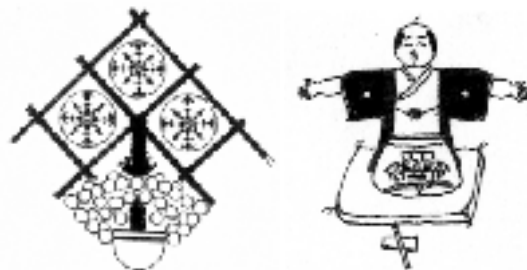
■ 上方落語寄席「ちさと亭」

「ちさと亭」盛況裡に上演される！

平成19年9月16日（日）午後「お笑いで元氣と楽しいまちづくりを！」を掛け声に今年本堂構築50年を迎えられた「千里寺」（国登録有形文化財）をお借りし、「グループいっせき」（関西大学文化会落語大学OB）の皆さんの出演による上方落語寄席の「ちさと亭」が催されました。

この企画は、まちづくりの歴史上もゆかりのある千里山、関大、千里寺が地域的に連携し「何か楽しいイベントができないのか」との着想から実現されたものです。

まちづくり協議会の初めての試みでもあり、手さぐりで手づくりの準備が進められるなかで、開幕した催しは、35燈用シャンデリアの灯った本堂に用意された100席が満杯になる盛況振りでLた。



安藤副会長の総合司会による筒井会長、武田ご住職のお話に続く各演目は、演者の熱演で、会場は笑いの渦に包まれ、あっという間に和やかなひと時が過ぎたことでした。

当日は地元以外に宝塚、大阪など他市からのご参加も得、ご家族連れの方々も見えられ、またサンTV、吹田CATVなどの報道機関の取材もあり放送もされました。

寄席後に参加者のアンケートで寄せられた感想のなかにも、「面白かったまたやってほしい」とのお声も頂き、主催者も励まされたり、また新たな目標を与えられた思いであります。

このように、初の催しがお陰様で無事に終わりましたのも、ご出演の皆様、お寺さま、婦人会の皆様をはじめ関係各位、ご参加の皆様方のご理解とご協力の賜物と存じ上げ、厚くお礼を申し上げます。

（中野直衛）



満員御礼でした



まち協と武田住職



飛び入りで大受け



グループいっせき



控え室での交流

■ 吹田郷土史研究会例会「秋季歴史文化講座」（告知）

大正9年（1920年）に開発されて80余年の千里山。そこに住んだ人びとによって守り継がれてきたまちづくりの今について考えてみます。

吹田郷土史研究会は歴史も古く、年間を通じて講座や歴史探訪ツアーの企画などとても活発な研究会です。

この講座では第1部にて「千里山の暮らしと住まい」と題して千里山の開発からまちづくりの今について中島が担当。第2部では「千里ニュータウンの誕生とまちづくり」として吹田市立博物館の藤井裕之氏の講演が企画されています。

開発の時代も内容、成り立ちのまったく異なる両者を比較することで「今とこれから」を考える新しい切り口が生まれる事を期待しています。参加は無料、申し込みも不要です。

（中島祐三）

日時：10月21日（日）
開会：午後1：00から
（午後0：30より受付）
終了：午後4：30まで
会場：メイシアター小ホール
（阪急吹田駅下車、北口すぐ）



中島祐三さんの講演

■ 千里山東散策ウォーキング

今千里山では、将来のまちの姿が課題になっています。まちを歩きながら、千里山を再発見すると共にまちづくりも一緒に考えようと、どなたでも参加できる散策会を春の桜の時期と初夏に実施しました。

初夏には5月12日（土）に緑豊かな千里山東を、参加者18名で散策しました。千里山東公園（洪水防止用地下貯水）→関大（市内最大の楠の大樹、博物館建物、凜風館）→大阪ハリストス正教会（ビザンチン様式の十字架形建物）→片山公園→玉林寺と巡った後、アサヒビールでビールのおいしい飲み方を教えて頂き、ジョッキを傾けながら懇談しました。「いろいろ知らないところを散策できてよかった。」と好評でした。

（筏 隆臣）



ロシア正教会礼拝堂



アサヒビール工場見学